

活動報告書

期間：2011年8月19日～9月2日

場所：オーストラリア、ブリスベン

主催団体：CVA (Conservation Volunteer Australia)

シドニー、ウルルなどオーストラリア全域で環境保護などの活動を行う団体
バンザイ・インターナショナルの仲介による

活動内容：雑草の根絶、植林、フェンスの修理など

私はこの夏に、オーストラリアのブリスベンで環境に関するボランティア活動を行ってきた。私が参加したボランティア団体 CVA には、日本をはじめ、韓国、台湾、フランス、イタリア、イギリス、ベルギーなど、アジアからヨーロッパまで様々な国籍を持つ人々が集まる。また、年齢も高校を卒業した子から27歳くらいまでと比較的幅広い。この中から週ごとにチームが分けられ、平日は朝8時から午後3時まで活動を行い、チームごとに活動場所に合わせた宿泊場所に宿泊するが、活動のない土日はブリスベンの CVA が保有するボランティアハウスで20名程が生活を共にする。これから、私自身の2週間の活動を報告する。

1週目は、ブリスベン近郊で活動を行った。ボランティアハウスから車で30分程の場所にある山や林のようところで、雑草の根絶を行ったり植林をしたりした。植林の作業は、想像以上にハードなものであったが、モーニングティー（オーストラリアの習慣で、午前11時前後に、仕事を一時中断して、お茶やお菓子をつまむ）と呼ばれる時間に、現地の方が用意して下さったお茶やケーキで疲れを癒しながら活動を行った。活動中には、オーストラリア



でしか見られない野生の鳥や動物を見ることができたりと、日本では見ることができない美しい自然を感じながら活動することができた。

2週目は、ブリスベン市内から車7時間ほどの農場で、ホームステイをしながら活動を行った。その農場は目で見える範囲すべてが草むらや林で、野生のカンガルーを見られる程であった。その週のボランティア内容は、野生のカンガルーや放牧されている牛などの動物を保護するために作られたフェンスの取り換え作業である。オーストラリアでは、野



生のカンガルーが自動車にひかれて死ぬということが問題となっていて、実際に私もその場面に遭遇した。農夫は、高齢であったため、オーストラリア人のリーダーと5人のボランティア（イタリア人2人、日本人3人）で農夫の手伝いをするような形で、約1km分の古くなったフェンスの取り換えを行った。また、周りに街灯も何もないと

ころであったため、夜になるとプラネタリウム以上の星空を見ることもでき、このオーストラリアの美しい自然を決して壊してはならない、と感じた。

平日は、英語を話しながら活動をし、様々な国の習慣や考え方の違いを知ることができたりと、とても興味深い体験ができた。また、夕食も全員で協力して作らなければならず、オーストラリアにいながらも様々な国の料理を楽しむこともできた。活動のない土日は、街中にでかけて行き、ブリスベンの古さと新しさの混合する街を堪能した。

オーストラリアの大自然を肌で感じながら自然保護活動を行うことができ、さらに母国語の異なる者達が英語という共通言語を通じてコミュニケーションを取り、親しくなれたことは、私にとって最高の経験となった。

